

再乱用のリスク

回復するのは簡単ではありません

一度、薬物を欲しがる脳に変化してしまうと、その回路をもとに戻すのは難しいです。生涯にわたって、再乱用のリスクを抱え、薬物をやめ続ける努力が必要です。

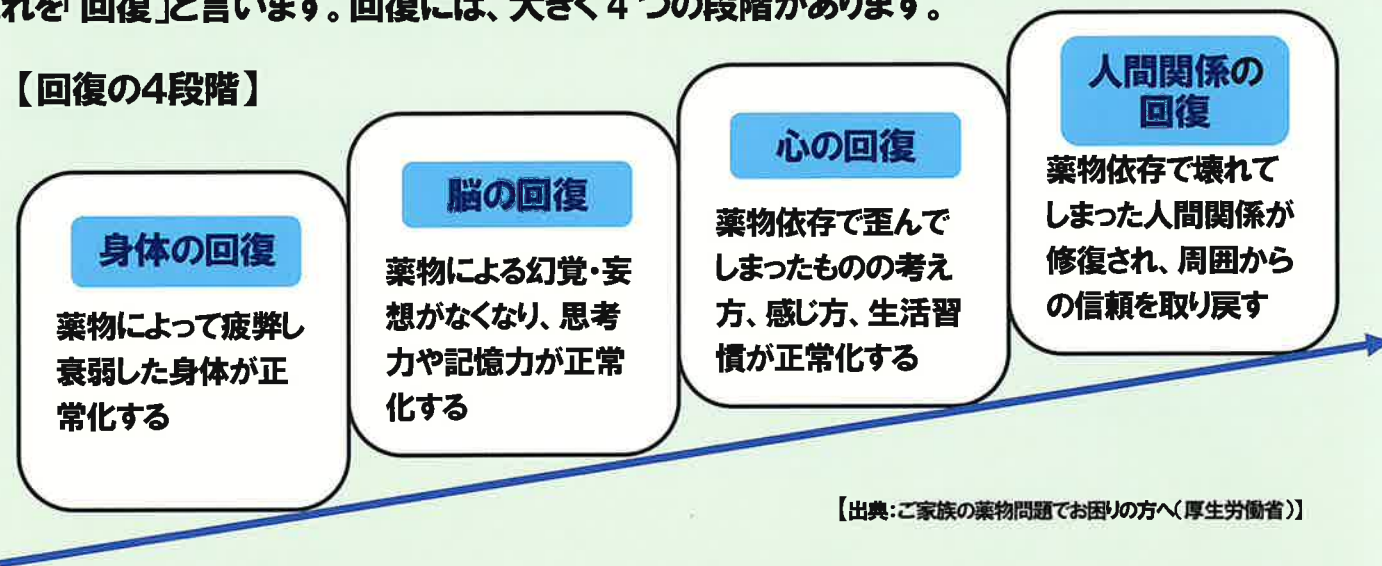
また、一人の力だけでやめ続けることは容易なことではありません。やめ続けるには、治療プログラムや生活環境を整えることが必要であり、家族や支援機関などの周囲のサポートが大切です。

薬物依存からの回復

依存症が完全に治ることは難しいですが、きちんと治療を受けて薬物をやめ続けられれば、多くの方は通常の社会生活を営み、薬物依存症によって失ったものを少しずつ取り戻すことができます。

これを「回復」と言います。回復には、大きく4つの段階があります。

【回復の4段階】



【出典:ご家族の薬物問題でお困りの方へ(厚生労働省)】

相談してみよう

薬物や市販薬の過量服薬などについて、悩みや不安がある時、疑問を感じた時は、一人で悩まず周囲の信頼できる人や専門家に相談しましょう。

秘密厳守で相談に乗ってくれる窓口があります。安心して、早めにご相談下さい。

薬物乱用に関する相談電話

長崎県福祉保健部薬務行政室	095-895-2469					
長崎県警察本部組織犯罪対策課	薬物110番 0120-110-874					
長崎県警察本部人身安全・少年課	ヤングテレホン 電話: 0120-786-714 メール: young786714@ezweb.ne.jp					
長崎こども・女性・障害者支援センター	薬物相談窓口		095-846-5115			
最寄の保健所	長崎市	095-829-1155	佐世保市	0956-24-1111	西彼	095-856-0693
	県央	0957-26-3305	県南	0957-62-3288	県北	0950-57-3933
	五島	0959-72-3125	上五島	0959-42-1121	壱岐	0920-47-0260
	対馬	0920-52-0166				
厚生労働省九州厚生局麻薬取締部	「麻薬・覚醒剤・中毒」相談電話	092-431-0999				
	再乱用防止支援窓口	092-472-2342				
あやしいヤクヅ連絡ネット	03-5542-1865					

このパンフレットは、厚生労働省、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターの関係資料、文献等を参考に作成しました。

令和7年3月作成

薬物乱用は

「ダメ。ゼツタイ。」

No!と断る勇気をもとう



(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

大切な自分を守ろう

注意!! 危険な薬物は、「ダメ。ゼツタイ。」。絶対に関わってはいけません。

長崎県

長崎県薬物乱用対策推進地方本部

長崎県薬物乱用防止指導員協議会

薬物乱用ってどういうこと？

病気やケガをなおすために使う薬をそれ以外の目的で使ったり、法律で禁止されている薬物を使ったりすることです。

たとえ一回だけの使用でも乱用です！

薬物乱用は一回でも「ダメ。ゼッタイ。」

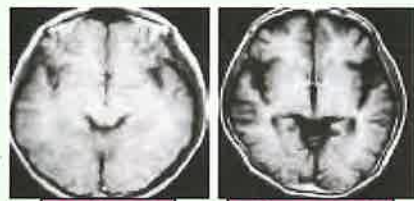


どうして薬物乱用はいけないの？

脳は20歳頃まで成長するといわれています。特に、小学生、中学生の頃は心も体も成長するときです。この時期に薬物を乱用すると、脳やからだの成長がストップし、いろんな問題が起こります。

薬物を乱用すると「心」と「体」に大きな影響をもたらします

違法薬物の場合



正常な脳 乱用者の脳

シンナーの場合

記憶力低下、幻覚、妄想、認知障害
視力の低下・失明
歯がぼろぼろになる。
肝臓の一部が壊れる。
生殖器の萎縮
手足のふるえ、しびれ、麻痺
成長期の青少年には、背がのびない、筋肉がおとろえる、体重がへるなどの症状があらわれ、脳やからだの発育をさまたげる大きな原因となります。

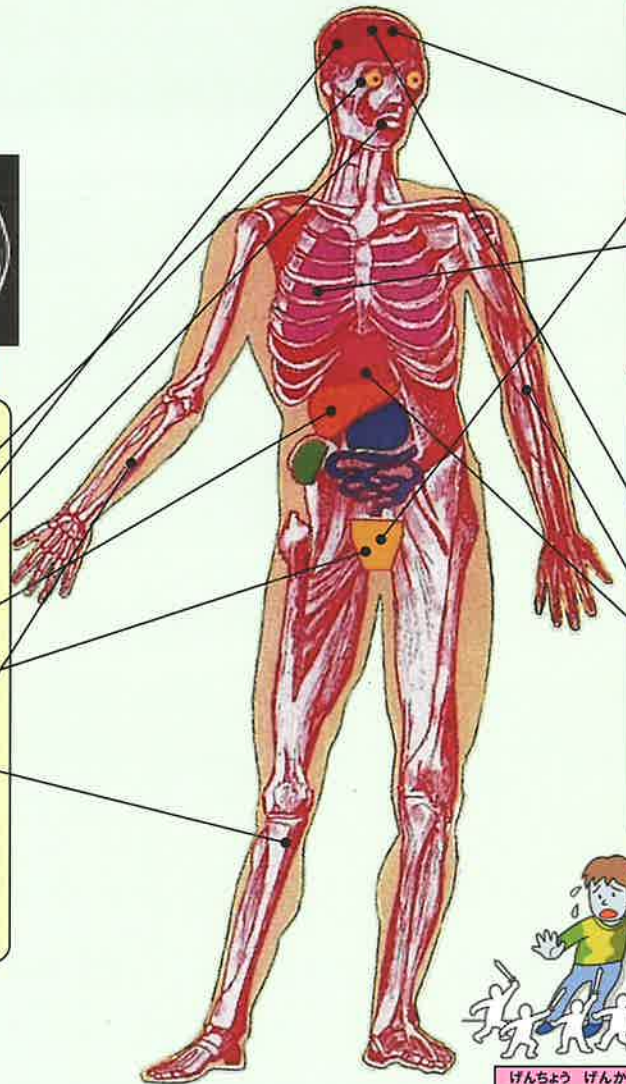
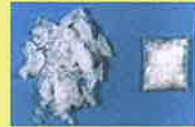
大麻(マリファナ)の場合

- 精神障害:大麻精神病(幻覚・妄想など)
- 生殖機能への悪影響
- 肺がんのリスクを高める



覚醒剤の場合

- 幻覚・妄想
- フラッシュバックをおこす。
- 静脈に炎症を起こす。
- 血圧が異常に高くなる。
- 強い疲労感や倦怠感、脱力感におそわれる。
- 依存性が強い。



けんちよう けんかく 幻聴・幻覚

知能の低下

手足のふるえ

医薬品の場合 過量服薬(オーバードーズ)

市販薬には様々な成分が含まれていて、大量に服用するとその中の成分が致死量を超えてしまうこともあります。中毒症状の治療が困難になることがあり、とても危険です。

法律で承認された医薬品は、使用目的・方法には明確なルールが定められていますので、それ以外で使用すれば乱用です。用法用量を守り、適切に使用しましょう。

自分の意志ではやめられなくなります



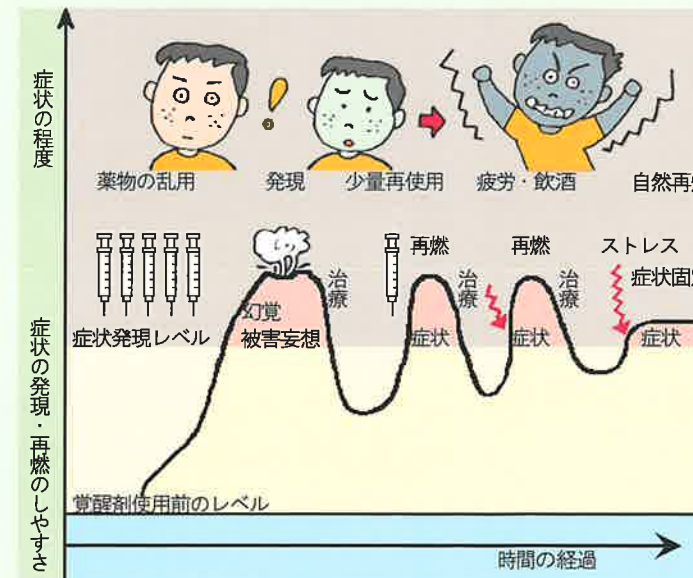
乱用される危険な薬物には、

- 依存性** 一回くらいならと思っても、また使いたくなり、繰り返し使ううちにやめられなくなってしまいます。
- 耐性** 繰り返し使ううちに、使う量がどんどん多くなってしまいます。

という、恐ろしい性質があります。「一回だけ」と思っただけの人でも、使用する量や回数がどんどん増えて、どうしようもない悪循環にはまっています。

そうすると、自分の意志だけではやめることはできなくなってしまいます。

薬物の害は生涯続きます



フラッシュバック

薬物乱用で、ひとたび精神病の症状が生じると、乱用をやめ普通の生活に戻ったようでも、ほんの小さなストレスがきっかけで、突然、もとの精神病の症状が再発することがあります。この再発の不安は、生涯続きます。

薬物を誘われたら、キッパリ断りましょう！ SNSでの誘いも注意しましょう！

- ・迷わない。ハッキリ、キッパリ断る。断りにくい場合は、その場から逃げる。
- ・SNSで誘われてもスルー、断りの返信も不要。薬物を勧めてきた人はブロック。